

健康事業の目標 アウトプットとアウトカムの新旧対照表

項目	改正後		改正前	
	アウトプット(事業の実施量)	アウトカム(成果・結果)	アウトプット(事業の実施量)	アウトカム(成果・結果)
1 特定健康診査の実施と受診率向上				
①受診率向上対策(重点地区)	令和2年度斗米、仁左平地区 令和3年度福岡、金田一地区 令和4年度石切所、御返地、浄法寺地区(予定) ・対象者へのハガキ送付 または電話勧奨 100% ・家庭訪問の実施率(特に健康状態不明者)100%	各年度 ・地区別健診受診率 前年度比5ポイント増加	平成 30 年度 福岡、金田一地区 平成 31 年度 石切所、御返地、 浄法寺地区 平成 32 年度以降は前年度検討 各年度 ・対象者へのハガキ送付 または電話勧奨 100% ・健康マイレージ参加率 40%	各年度 ・地区別健診受診率 前年度比5ポイント増加
目標値に対する実績からの変更理由	健康マイレージ事業の実施予定が無いこと 重点地区の設定し、未受診者対策と合わせて実施する			
②受診率向上対策(未受診者)	各年度 ・対象者へのハガキ送付 または電話勧奨 100% ・家庭訪問の実施率(特に健康状態不明者)100% ・SMS(ショートメールサービス)の実施	特定健診受診率 ・令和2年度 52% ・令和5年度 60% (市町村国保全国目標)	各年度 ・対象者へのハガキ送付 または電話勧奨 100%	特定健診受診率 ・平成 32 年度 52% ・平成 35 年度 60% (市町村国保全国目標)
目標値に対する実績からの変更理由	保健師の家庭訪問件数を増加させ、健診や医療機関へ繋がっていない健康状態不明者を受診へつなげる ショートメールサービスを活用した新規受診勧奨手段の導入			
③健診会場・日程の見直し	各年度 ・三戸地区と浄法寺地区の両地区で十日健診実施 ・会場及び日程を見直し	各年度 ・地区別健診受診率 前年度比2ポイント増加	各年度 ・十日、夕方健診の実施年9回 ・会場及び日程を見直し	各年度 ・地区別健診受診率 前年度比2ポイント増加
目標値に対する実績からの変更理由	令和2年度から令和4年度の複数年データをもとに、会場別、曜日別、年齢別の受診者人数比較データを分析し、令和5年度の会場を再検討。 令和元年度から令和3年度の特定健診受診者上位5日をもとに、平日の日程も多数あり、必ずしも土日日程の健診日が多い訳では無い状況。【別添資料参照】 委託機関との日程調整の関係で土日9日を組むことが困難である。			
④保健医療関係者との連携	医療機関及び薬局等 ・薬局から勧奨・配布	特定健診受診率 ・令和2年度 52% ・令和5年度 60% (市町村国保全国目標)	医療機関及び薬局等 ・受診勧奨チラシ配布 3,000 枚 ・受診勧奨ポスター掲示 100 か所	特定健診受診率 ・平成 32 年度 52% ・平成 35 年度 60% (市町村国保全国目標)
目標値に対する実績からの変更理由	医療機関からの受診勧奨については、医師会との勉強会でも依頼済。(医師会の会合等で声かけをお願いする) 薬局からの勧奨・配布については、令和4年度も継続実施予定(令和2、3年度の実績報告)			
2 特定保健指導の実施	・特定健康診査全で、初回面接を実施 ・特定健康診査個人票送付時に健康相談会(結果説明会)日程を対象者全員に郵送 ・健康相談会を3回実施 ・特定保健指導スキルアップ研修会実施2回以上	特定保健指導実施率 ・令和5年度 50%以上 ・特定保健指導により特定保健指導の対象者ではなくなった者の割合の減少(15~20%)	・特定健康診査会場 37 会場で、初回面接を実施 ・特定健康診査個人票送付時に健康相談会(結果説明会)日程を対象者全員に郵送 ・健康相談会を3回実施 ・特定保健指導スキルアップ研修会実施2回以上	特定保健指導実施率 ・平成 35 年度 50%以上 ※改善率については未設定 平成 31 年度に改善率の目標値を設定
目標値に対する実績からの変更理由	実施率を維持しながら、特定保健指導の効果を評価していく			
3 脳卒中、心疾患、糖尿病の重症化予防対策	・特定健康診査結果で、医療機関受診勧奨通知を対象者全員に通知(100%) ・特定健康診査受診者全員にクレアチニン(eGFR)を測定(100%) ・未受診者全員に対して電話、個別訪問を実施(100%) ・医師から指示のあった人への栄養指導を実施(100%)	対象者のうち医療機関受診率 ・令和2年度 40% ・令和5 年度 50%	・特定健康診査結果で、医療機関受診勧奨通知を対象者全員に通知(100%) ・特定健康診査受診者全員にクレアチニン(eGFR)を測定(100%) ・未受診者全員に対して電話、個別訪問を実施(100%) ・医師から指示のあった人への栄養指導を実施(100%)	対象者のうち医療機関受診率 ・平成 32 年度 40% ・平成 35 年度 50%
目標値に対する実績からの変更理由				
4 脳卒中、心疾患、糖尿病予防の普及啓発	・生活習慣病予防教室 3回 60人(健診結果を用いた病態別の教室) ・講演会実施2回 ・広報へ糖尿病について正しい知識と予防について掲載1回 ・健康レシピを毎月1,000部発行 ・脳卒中予防キャンペーンチラシ100枚配布 ・健康フェスティバルでチラシ1,000枚配布 ・特定健康診査会場で糖尿病についてのリーフレットを 2,500 部 配布	教室に参加し行動変容のあった人の増加(アンケート、個別指導) 講演会に参加した人で生活改善に意欲があった人の増加	・推定塩分摂取量を測定し、結果を用いた事業の企画 ・高血圧予防改善教室を実施5回 ・脳卒中予防講演会実施5回 ・脳卒中予防講演会実施2回 ・脳卒中予防キャンペーンチラシ 100 枚配布 ・減塩チャレンジ教室5回 ・減塩レシピ毎月 500 部発行 ・糖尿病予防改善教室実施2回 ・健康フェスティバルでチラシ 1,000 枚配布 ・特定健康診査会場で糖尿病についてのリーフレットを 2,500 部 配布 ・国保どよりで糖尿病についての正しい知識と予防について掲載 1 回	・高血圧予防改善教室 100 人参加 ・脳卒中予防講演会 70 人参加 ・糖尿病予防改善教室 100 人参加
目標値に対する実績からの変更理由	事業の見直し等により、アウトプット、アウトカムも修正を行った			
5 がん検診の受診率向上	・被保険者の状況把握 ・各がん検診受診対象者に受診票を個別に通知(100%) ・広報による周知5回 ・土日検診の実施9回	(令和5年度最終目標値) 胃がん 30.0% 大腸がん 35.0% 肺がん 40.0% 子宮頸がん 25.0% 乳がん 27.0%	・被保険者の状況把握 ・各がん検診受診対象者に受診票を個別に通知(100%) ・広報による周知5回 ・土日検診の実施9回	被保険者の受診率について、今後調査し測定することとし、平成 31 年度に受診率の目標値を設定
目標値に対する実績からの変更理由	数値目標については、健康21プランで定めており、整合性を図るためその数値を活用する。 家庭訪問等により被保険者の状況把握を充実させ、検診受診率向上と結果に基づく精密検査受診100%のための勧奨を実施していく。 広報については、今後「健康都市宣言」もふまえ、市民も一体となって事業を推進していく必要があるため、広報を充実していく。 ※土日健診については、特定健診日種だけでは実施不可能であるが、全がん検診日程であれば回数割アであるので残すこととする			